

2017 TOP INTERVIEW
明日への飛翔

県内の企業・団体のトップに新年の抱負などをうかがう「トップインタビュー」。今年は過去最多の95人に登場いただきました。加速度的に変化が進む現代社会においても、県内企業・団体のリーダーは、郷土の未来を見据え、地域に根差し、着実に歩を進めていく姿勢に満ちています。さて今年はとり年。一説には酉の文字には、果実が成熟した状態を表しているそうです。さらに鳥は人々に時を知らせる動物であることから、新たな羽ばたきの時と捉えることもできるでしょう。2017年の幕開けに当たり、各産業、分野の状況などを踏まえつつ、語っていただきました。



栃木と沖縄、新たな展開

これまでは、道の駅などを足がかりにして、独自の市場をつくりながら縦に突き抜ける事業展開をしてきたが、今後は横への広がりを求める

る。栃木と沖繩に直営拠点を構えることで、生産時期の異なる農産物の相互産地補完や特産品等の産地間流通の推進が可能となる。物産流通だ

図ること、その先にハブ空港を活用した東南アジア方面への輸出も展望する。沖縄をバウンドさせることで、さまざまなメリットを生み出せ



(株)ファーマーズ・フォレスト

代表取締役社長

まつもと ゆずる
松本 謙氏

フアーマーズ・フォレストグルー
プは、農業や食、観光などの地域資
源を総合的にプロデュースする「地
域商社」の考え方を掲げ、先進的な
提案を発信し続けてきた。先駆モデ
ルとして政府の「地域しごと創生会
議」で提言を実施。それを機に、政
府は地域商社の全国展開を閣議決定
した。現在、「まちひとしごと創生
本部」とともに、全国各地で地域商
社立ち上げ支援も手掛ける。「栃木
県の企業として地方創生のけん引役
になれることは光栄」と率直に喜ぶ。

段階に入ったとする。昨年4月に沖縄支店を設けたのはその布石だ。2018年春には、同県内最大級の直売複合拠点施設の開業が決定してい

だけでなく、観光文化交流も図る構えだ。

構想はそこにとどまらない。現地市場やインバウンド市場への浸透を

という。「物流面など課題はありますが、それらの課題を突破すること、全国との産地間流通のネットワークや交流連携を生み出し、新し

「流通の仕組みを創造したい」と先へ先へとチャレンジは続く。

今年は一道の駅 うつのみや」5周年、「ファーマーズ・フォレスト」創業10周年の節目。地元栃木での地域商社としての充実も進化させる。着地型観光の核となる「えにしトラベル」の運営、産学官や地域と連携した「大谷イチゴ」の生産も本格化。本年から始まる栃木DC、東京五輪、国体という好機に大きな期待をかけるとともに「その先に何を残すかがさらに大切」と気を引き締める。

Local Business Frontier

～日本のローカルをワールドクラスにする地域商社～



FARMERS FOREST
GROUP

株式会社 **ファーマーズ・フォレスト**

<http://farmersforest.co.jp>

〒321-2118 宇都宮市新里町丙254

☎028-665-8800